

## 遠野と大口、 未永く交流を深めましょう!

(遠野市社会福祉協議会 佐々木事務局長)



訓練だけでなく、  
大口の方に遠野を  
知ってもらい、交流  
できてよかったです!

### ふれあいまつり当日(11/1)

11月2日、『支援訓練隊』が遠野へ帰る朝。再会を誓って!



どんどん  
食べて〜



次々と生地をハンリ(大鍋)に入れ、茹で上げます。雨の中、途切れることのない来場者の列に、大口絆つなぐネットのスタッフも必死で対応。



久しぶりの再会!  
みんなおっきく  
なったな〜♪



はじめま  
して〜♡

あら〜  
びっくり!



おらの農園でとれた  
ブルーベリーの  
ジャムは、うめよ〜!

石関氏宅にホームステイした子どもたちが集合! 遠野市のマスコットキャラクター「かりんちゃん」も登場! 遠野・石上の里の手作りジャムを販売する及川氏

### 大口絆つなぐネットとは

東日本大震災後の平成23年6月、遠野市内で震災復興支援ボランティアを派遣する拠点として、行政・ボランティア・社協によって立ち上げられ、活動を開始。現在も、ボランティア団体として東北支援を継続しています。

### ふれあいまつり前日準備(10/31)



一緒によろしく  
お願いします!



ひつまみは、  
腰入れてねれば  
ねるほど、  
うまくなるんだ〜



### ひつまみとは

小麦粉の生地を手でちぎり、貝だくさんの汁で煮込む岩手の郷土料理。「手で引きちぎる」事を岩手の方で「ひつまむ」と言います。鶏ガラ出汁、鶏肉、野菜のうまみが、モチモチのひつまみにしみた絶品汁です。

- 1 遠野市職員 佐々木氏から準備開始の挨拶
- 2 ひつまみ名人の及川幸子さんが作り方を伝授!  
岩手県のひつまみ専用の粉を練り、力いっぱいたたいたり延ばしたり。遠野では、地域の集いがあると、女性たちが集まってみんなでこの作業を行うのだそうです。



## 遠野市・大口町社会福祉協議会

# 災害支援訓練

ふれあいまつりで岩手の郷土料理「ひつまみ汁」を炊き出し



『支援訓練隊』が大口町健康文化センターへ到着

平成26年5月24日、遠野市社会福祉協議会と大口町社会福祉協議会は「災害時相互応援協定」を締結。将来にわたる相互交流と災害時の連携を約束しました。

今回の訓練は、協定に基づき、遠野市社協が行なった震災時の後方支援活動の経験を活かし、両社協合同の災害支援訓練が実現したものです。

南海トラフ巨大地震等の大規模災害が発生し、遠野市から大口町への支援が必要となった想定で、車両による経路訓練、災害ボランティアセンター運営のための職員派遣、炊き出し訓練等を実施しました。

10月30日午後8時、遠野市社協の事務局長以下職員3名、遠野市職員2名、遠野市綾織地区の皆様6名の『支援訓練隊』が、遠野を出发。片道14時間をかけて、31日午前10時半に



遠野市でも、  
今回の訓練実施を  
宣言してきました!!

両社協が合同で災害支援訓練の開会を宣言

大口町へ到着しました。

合同で災害支援訓練の開会を宣言後、早速「ひつまみ汁」の小麦粉を練る作業等の下準備を一緒に行いました。

11月1日ふれあいまつり当日は、大口絆つなぐネットのブースで「ひつまみ汁」を調理し、250食を来場者に無料配布。激しい雨が降る悪天候の中、準備や行程に時間がかかり、実施内容の変更等の対応に追われました。しかし、どのような事態が起こるか予測不能な災害時の訓練としては、むしろ実りのあるものとなりました。

また今回、遠野の皆様と、鈴木町長をはじめ大口町議会・行政・社協関係者との交流も実現。今後の災害対策において、震災復興支援の経験をもつ遠野市社協との緊密な連携が、大きな支えとなることが再確認されました。

## 遠野市社会福祉協議会・大口町社会福祉協議会 災害時相互応援協定 要旨

遠野市社協・大口町社協のいずれかの県域において災害が発生し、災害を受けた被災地域への十分な支援対策を実施できない場合、相互に応援し、かつ協力します。

速やかに必要な情報を相互に連絡する緊密な連絡体制を整え、応援の要請にもとづき、以下の内容の応援を行います。

食料、飲料水や生活必需品や被災者支援に必要な資機材、車両等の提供及びあっせん、災害ボランティアセンター運営に必要な人材の派遣ボランティアのあっせん等



※大口町社協の窓口では、「災害時相互応援協定」を公開しています。閲覧を希望の方は、お問い合わせください。



協定締結に  
関する遠野テレビの  
ニュース映像を  
再生!

ふれあいまつり会場の健康文化センター内  
遠野市の特設PRコーナー